

4月11日（火） 「6年生になる」とは

1年生の教室を朝のぞいてみると、6年生が何人か教室に……。何をしているのかと思いきや、1年生が持ち物の片付けを上手にできるようお世話をしていました。その姿は、時に手を貸し、時にやさしく見守り、時に声をかけ、……。

「6年生になる」とはどういうことか……。教師から説明され促されることも必要ですが、このように実際に下級生とかかわり、そこで対話し、肌感覚で感じるものが、どれだけ大きく尊いものか。6年生にとっても、そして1年生にとっても、意味のある時間が流れていました。

